

頸動脈エコー



安全で痛みを伴うことがない身体にやさしい検査です。
首（くび）を流れる「頸動脈」を超音波で観察します。

Q 何のために検査をするのですか？

A 頸動脈は、大動脈から頭部へ血液を送る血管のことです。糖尿病・脳卒中・脂質異常症・心臓病・高血圧・肥満などの異常が疑われる場合に受けます。

Q 身体への負担はありますか？

A 頸動脈エコー検査は超音波を使った検査で身体を傷つけず、放射線被曝の心配もありません。ただし、超音波を出す器具を首に当てますので、苦痛の場合は検査中でもお申し出ください。

Q 検査時間はどのくらいかかりますか？

A だいたい40分程度かかりますが、内容によっては長くなることもあります。

Q 何がわかりますか？

A 動脈硬化の進み具合を判定し、脳梗塞、心筋梗塞、狭心症や、全身の動脈硬化疾患の可能性を調べるのに有用な検査です。



Q どのように検査するのですか？

A 頸動脈エコーでは、仰向けの状態で検査を受けます。モニター画面を見やすくするために部屋の照明を暗くして行います。エコーで部位を観察しやすくするため、首にゼリーのついた超音波を送り出す探触子という器具を当てて頸動脈の様子を観察します。検査を受けやすいように、くびを出るような服を着てご来院ください。

この検査を受けられるご予約の場合は、くびが広くあくような服装にてご来院されるよう、お願いいたします。

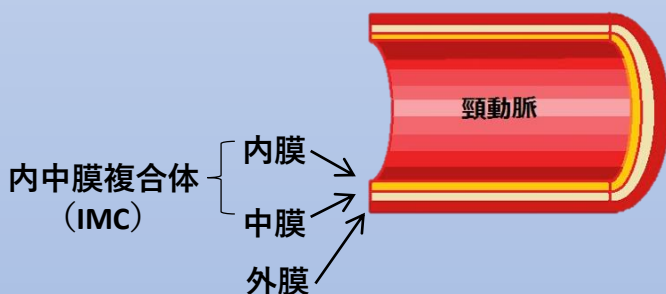
頸動脈とは・動脈硬化とは

頸動脈とは、大動脈から頭部へ血液を送る血管のことです。首の部分の頸動脈は脳へ血液を送る「内頸動脈」と、顔の方へ血液を送る「外頸動脈」があり、それらの分かれ道となる『頸動脈分岐部』は動脈硬化になりやすい部位とされています。

動脈硬化とは、文字の通り動脈が硬くなることで弾力性や柔軟性を失った状態です。動脈に中性脂肪やコレステロールがたまることで動脈の血流が詰まったり、硬くなったりという現象が起きます。そのような状態になると狭心症や大動脈解離、心筋梗塞などになる可能性が高いとされています。

さらに、動脈硬化が進行すると、プラーク（かたまり）ができやすくなり、プラークが大きくなって血管を詰まらせる脳梗塞を引き起こす可能性があります。

頸動脈エコーでは脳へ血液を送る重要な役割をしている頸動脈部分を検査するので、上記のような動脈硬化が原因となる狭心症や大動脈解離、心筋梗塞および脳梗塞など命にかかわるような病気が発症する危険度を推測することができます。



正常の頸動脈



プラークを伴う頸動脈

